



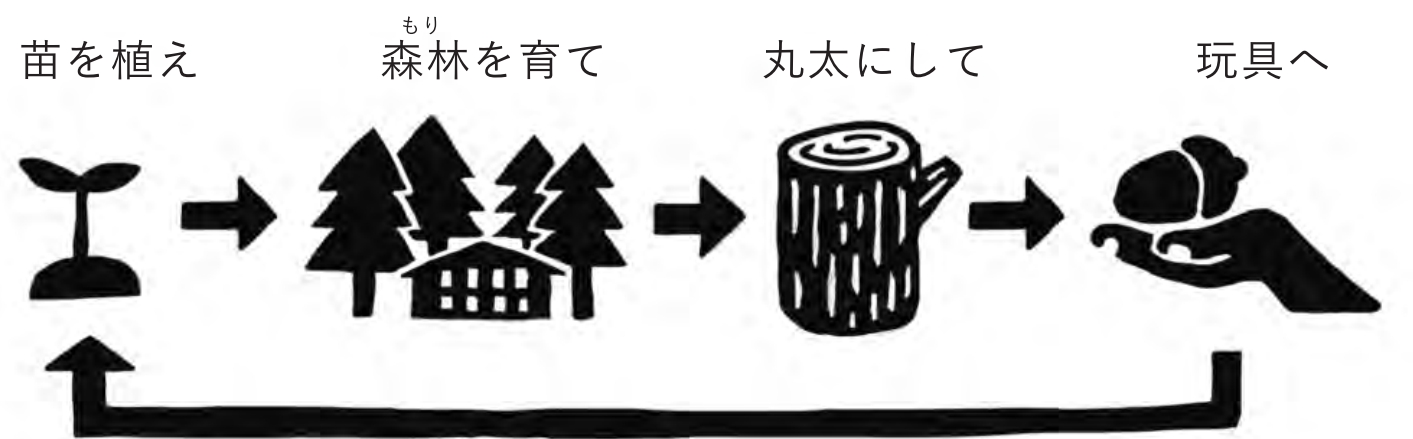
はじめまして、 こ の み conomiです。

子どもと暮らしを育む

「このみ conomi (木の実)」は、自由学園の森林で大切に育てられた樹木と、人々の暮らしをつなぐプロジェクトとしてはじまりました。日本は森林の豊かな国として、人々の暮らしの中で木を大切に使ってきました。木の香りやぬくもりは、いくつになっても記憶のどこかに刻み込まれているものです。それは、そのものに“いのち 生命のぬくもり”を感じるからかもしれません。森林づくりから一貫して、顔の見える関係の中で1つひとつ丁寧な作業を心がけてきました。このみ conomiという玩具を通して、子どもの感性と、皆さんの暮らしが心豊かに育まれていきますように。

お爺さんが植えた木なの？

そうなのです、およそ70年前に植えられた苗木からこのみ conomiは生まれました。創立者の一人、羽仁吉一は樹木を愛する人でした。「人を育てることは木を植えるようなものだ」という言葉を残し、“もり 森林づくり”を通して全人的な教育を目指しました。もり 森林づくりは1950年(男子部10回生)に埼玉県名栗ではじまり、これまで2千人を超える生徒たちが長い年月をかけて苗木の生命をつないできました。山の営みに関わってきた生徒や教師の数だけ、自由学園の森林には様々な物語が宿っています。



売り上げの一部を活用し、新たな森林づくりへと循環を目指します

一生につなぐ毎日がここにある

JIYU

企画：自由学園こっこ広場 × 自由学園生活工芸研究所